

氏名	苔 口 昭 次
学位(専攻分野)	博 士(医 学)
学位授与番号	博 乙 第 2459 号
学位授与の日付	平成 4 年 6 月 30 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Proliferative Activity in Normal Endometrium and Endometrial Carcinoma Measured by Immunohistochemistry Using Ki-67 and Anti-DNA Polymerase $\alpha$ Antibody, and by Flow Cytometry (Ki-67と抗DNAポリメラーゼ $\alpha$ 抗体による免疫組織染色およびフローサイトメトリーを用いた正常子宮内膜と子宮内膜癌の増殖性について)
論文審査委員	教授 赤木 忠厚      教授 岡田 茂      教授 難波 正義

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

正常子宮内膜に部位別増殖性の差が存在するか、また子宮膜癌において、部位別、stage別、grade別、DNA ploidy別の増殖性の差が存在するかどうかを検討した。増殖性の指標は、モノクローナル抗体Ki-67と抗DNAポリメラーゼ $\alpha$ （以下 $\alpha$ ）を用いた免疫組織染色で得られた陽性率とflow cytometry (FCM) を利用した。また免疫組織染色とFCMとの関連についても考察を加えた。手術で得られた正常増殖期子宮内膜21例と筋層浸潤を有する子宮内膜癌（腺癌）20例を対象とした。結果は以下のとおりであった。正常子宮体部を底，中，下部にわけた場合，増殖期子宮内膜に部位別増殖性の差は認めなかった。子宮内膜癌では，筋層浸潤の増殖性は腫瘍中心部より有意に高かった。stage別，DNA ploidy別には有意差を認めなかったが，Grade 3は他のGradeより高い増殖性を示した。また，FCMによる，proliferative indexとKi-67， $\alpha$ 陽性率との関連は乏しく，両者とも増殖性の指標としては別個のものと考えられた。

なお，本論文は共著論文であり，共著者の協力を得て完成したものである。

## 論文審査の結果の要旨

本研究は Ki-67とDNAポリメラーゼ $\alpha$ の免疫染色及びフローサイトメトリーを用いて、正常子宮内膜及び子宮内膜癌の細胞の増殖について研究したものであるが、正常子宮内膜と内膜癌の部位別増殖能について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。